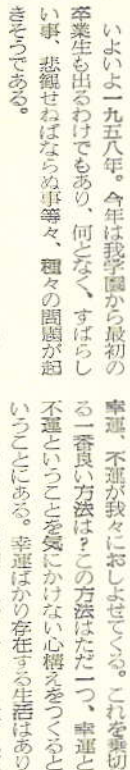


洛星新聞編集局
京都市北区小松原南町
TEL④2334



啄木

今年こそ今年に我々はすべて例外なしに何事かを決意する。しかしこの何事かは、たいていの場合思つた通りに行くものではない。成説しなかつた場合、皆除夜の鐘を聞きながら、大いに悔むにちがいないのである。年頭に際し、何事かを決意すると同時に、それが成らなかつた時の事をも考えにおく必要がある。

かもしれない。すべての物事の内、我々の生活にプラスとなるものを認めて生きていくことが最も望ましい。こういう風にして生活するならば何も悔むということば有りえないではないか。

よしどうあるうとも、人生はよいものだ。

――ゲーテ――

この一年、我々は、このゲーテの言葉をよく味

わつた上で生きなければならぬ。

次の主な行事は最初のクリスマス
の劇と御ミサでした。劇は十二
二十三日の晩、七時から行いま
す。劇は割合成功でした。
劇の前後皆さんは大変嬉しい気
分、純真な単純な喜びを思い出し
、プレゼントをみて皆さんの際
ぎを分配しました、それぞ
れをプレゼントをみて皆さんの際

高三生に献ぐ――

ヨ
ゼ
フ・ナ
ド
ウ

く述べた顔になった生徒もあるから少し困ります。劇は三階の三階の講堂（現在の図面等）でやりましたので非常せまかったが、その反面にストープであつたかくなつて皆さんにクリスマスのプレゼントでしてよかつた。大藁面白かつた。どうも皆さん年をとつていくとしても人生の可愛いらしい事柄たいして感動するような力を失われないように氣をつけて下さい。

会費値上げ問題で

引きつぎのおどかつた後期高校のものになるとして宮内に生徒会会を討論することになった。生徒会は、やつと、活動すべき三学期となり、大いに張り切つていふものである。これに先立ち、昨年、十二月二十一日、臨時總會を開き、今までの生徒會費では執行委員會は部へ予算分配をするだけこの値上げ問題は、再び執行委員長の猛烈な反対にあり、結局合決のようないふ手配を寄せた。

生徒会機構を確立

永原宏道



何だかたどと騒いでいる内に中央
委員長という大役をひきつけてし
まつて、高等学校の皆様には気の
毒な事だが、再感僕が生徒会をや
つて行く事になった。この事につ
いては、内心僕も色々な点で困つ
ている。

新聞代値上を考慮中

これでは、智習四面の新聞差作つていゝと赤字とならざるを得ない。毎月三六〇〇の程度不足する。これから八月の発行をしない時の予ある。

志願者一六六名に

来年度の入学志願者受付は、現在行われているが、二十三日現在、中学の志願者は一六六名、高校の志願者は八名となっている。これから、グンとふえるみこみである。

局告

昨年十二月号が、すでに掲載いたしましたように予算不足の爲に発行できず、その爲に、予定していた記事が、今月に回つたり、又ニュースが、ニュースでなくなつたことをお詫びいたします。

衣笠

見られるのだから申し分ない。

▼生徒会が利益を取らないという事で許可されたものらしいが、これは我々生徒達には有難いようだが有難くないようなことである。

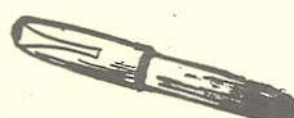
▼生徒会としては利益を少しでも生かして活動の多寡を留

書籍・文具の御用は



千本中立売下ル
TEL ④ 4905

和洋式
文具事務用品



今出川千本西
カマダ文具店
TEL④2366

生徒諸君の
サービス店

北野神社前西入南側
中村自転車商会

加太
（中学）
武田
（高校）
優勝

第四回 校内マラソン大會

本校の行事の一つとして、毎年行われる第四回校内マラソン大会は、昨年十月十九日に、生徒の殆ど全部が参加して、本校一広沢池、釈迦堂、嵐山渡月橋の折り返し十五キロのコースで行われた。気温は少し低く、空気が冷かったが、天候は晴で、絶好のコンディションのもとで、中学生生徒は、午前九時三十分に出発し、高校生は、中学生生徒より二十一分後の、午前九時五十一分に出発した。力走の結果中学では、加太が第一、加太が二時間十二分、三十分、十四分、二位、沢瀧久明（フケループ）の加太、西山、高田あたりがせり合つて折返して来た。加太君は広沢池を過ぎて間もなく最後の力走を試み、上位グループの數人をそれ以下を離し、ゆうゆうと二位の西山君を三分以上の差をつけて、ゴールインした。二位から五位迄は、非常な接近であつた。	十一分十四秒、三位、沢瀧久明（フケループ）の加太、西山、高田あたりがせり合つて折返して来た。加太君は広沢池を過ぎて間もなく最後の力走を試み、上位グループの數人をそれ以下を離し、ゆうゆうと二位の西山君を三分以上の差をつけて、ゴールインした。二位から五位迄は、非常な接近であつた。	十位、後藤孝夫（二B） なお高校生の中には、コースを間違えた者が數人いたが、間違えなければ入賞したなと思われ	義直（一C）、八位、山本頼脚（一A）、九位、酒井清雄（二B）、	周十六分五十秒、五位、後真幸（一A、一時間十七分零九秒、六位、村田昭三（一A）、七位、黒川	松村孝之（一A、一時間十四分十秒、四位、野中光雄（二C）一時	本校の行事の一つとして、毎年行われる第四回校内マラソン大会は、昨年十月十九日に、生徒の殆ど全部が参加して、本校一広沢池、釈迦堂、嵐山渡月橋の折り返し十五キロのコースで行われた。気温は少し低く、空気が冷かったが、天候は晴で、絶好のコンディションのもとで、中学生生徒は、午前九時三十分に出発し、高校生は、中学生生徒より二十一分後の、午前九時五十一分に出発した。力走の結果中学では、加太が第一、加太が二時間十二分、三十分、十四分、二位、沢瀧久明（フケループ）の加太、西山、高田あたりがせり合つて折返して来た。加太君は広沢池を過ぎて間もなく最後の力走を試み、上位グループの數人をそれ以下を離し、ゆうゆうと二位の西山君を三分以上の差をつけて、ゴールインした。二位から五位迄は、非常な接近であつた。	本校の行事の一つとして、毎年行われる第四回校内マラソン大会は、昨年十月十九日に、生徒の殆ど全部が参加して、本校一広沢池、釈迦堂、嵐山渡月橋の折り返し十五キロのコースで行われた。気温は少し低く、空気が冷かったが、天候は晴で、絶好のコンディションのもとで、中学生生徒は、午前九時三十分に出発し、高校生は、中学生生徒より二十一分後の、午前九時五十一分に出発した。力走の結果中学では、加太が第一、加太が二時間十二分、三十分、十四分、二位、沢瀧久明（フケループ）の加太、西山、高田あたりがせり合つて折返して来た。加太君は広沢池を過ぎて間もなく最後の力走を試み、上位グループの數人をそれ以下を離し、ゆうゆうと二位の西山君を三分以上の差をつけて、ゴールインした。二位から五位迄は、非常な接近であつた。
---	--	---	---------------------------------	---	--------------------------------	---	---

十五秒で、高校では武田好文君（日20）が、一瞬間十一分十四秒で、それぞれラブを切りのゴールインした。

主な記録は次の通り

中学校上位十傑

今回は通路工事の爲、毎年のマラソンコースが変更になり、本校を出て、仁和寺の前を通り、広沢池から釈迦堂前を通り、嵐山渡月橋まで行き、そこから折返して本校に帰ると言うコースとなった。

高校生の皆も四位から一位までは、抜きつ抜かれつの大激戦であつた。


記録的に見て言える事は、高校生と中学生との差が一、二分位しかひらいていないのは、中学生の

一位 加太知邦(3A) 一時間
士(五)二十五秒、二位 西山光輝(2A) 一時間十六分零秒、三位 萬田金成(3C) 一時間十七分三十二秒、四位 田中重治(1A) 一時間十八分零六秒、五位 不破勝(2B) 一時間十八分十六秒、六位 西山光雄(3B)、七位 石井謙三(3C)、八位 羽田孝一(1C)、九位 時野谷健(3B)、十位 原田武夫(2C) 高等學校上位十傑

一位 武田好文(2C) 一時間

中学校の生徒は、初めから走ろうとする者と、ゆつくり行こうとする者が別れた。中学校の先頭のグループは、すでに行きの釈迦堂の前あたりから、次ぎつ抜かたつての大接戦をいっげ、しんがりが、広沢池に達した頃、トツ

写真説明
写真上 中学校
一位 加太君
写真下 高校
一位 武田君



健闘もさる事ながら、もう少し高
校生の活躍を望みたいと言つ事で
ある。

なおマラソンに特別参加された
前田先生、小西先生、服部先生は
生徒達に負けない大活躍ぶりで諸
先生方々成績で、小西先生は堂々
七位、服部先生は八位に、前田先

クラブの現状

本報も創立以来既に六年になら
ラブがその栄枯盛衰を随つて来
ラブの様子を、各クラブの責任
つてお伝えしようと思つた。

交響樂部

交響楽部は小笠原先生を総大將に部長二十五人、歴史の浅さを吹き飛ばす猛練習により、小笠原先生に言わせると、「やわきけるものになった」そうである。昨年のクリスマスの演奏会が大変好評で

が足りないことであるが、しかもこれらも除々に充塞さして行く予定となす事が出来る曲目の数も多くなの、三月一日に演奏会を行う予定で現在猛練習を行っている、なお今年中に他校との合同演奏会を行うことを予定している。

謡曲部

謡曲部は現在金剛流豊嶋左衛門門下であり、毎週土曜日講堂は教室に於いて練習には行っている。記念祭や他の機会に度々落書会をやっている、日本古典に興味を持つものやポリニームのある事

庭球部

現在の部員は、中一、十七名、中二、十五名、中三、十四名の四十六名です。練習方法は、昨来までは、技術向上の為に力をぎ、乱打、試合を中心としていました。その成果は、次の様に

山岳部

○団体戦（10月27日・二条、矢

バ
レ
ー
部

山岳部

写真部

我々学生は一級の教養のみでなく立派な人格を作る事が義務であり先生方は生徒の人格の成長を守る役目をされておられるわけしかしながら、我校において先生の御宅は防閑出来ない事について、我々生徒が先生に對

演劇部告

感が増し、心の悩みをどんどん
明ける事が出来る様になれば決
て、洛星から若くして、自ら命
絶つなどという者は出ず、ホー
ルムの時間だけでは達成出来
ない事柄をも成す事が出来るたろ
うか我々生徒の先生の御宅防

美術部

現在部員が前よりへつて中学十

野球部

洛星中学の野球部はその創立以來部員の少なすぎることで有名である。よいコーチもいなかったの
でその対校試合の成績の悪い事も
又有名である。広い運動場を持
ながら真に情けない極みであつた

生徒の不満

解消が第一
高一B 藤田 裕二

話す機会をくれ

中三 斎藤登史雄

演劇部告

演劇に興味のある者、劇を自分の手でやつてみたいと思う者は、劇部員になる事を志望せられた。今度の上演時日は未定だが、今頃には予定である。入部希望は和用先生か、高一A安田武彦



写真説明
 写真上 中学校 一位 加太君
 写真下 高校 一位 武田君



将来は交響楽部とていいい
オーケストラの伴奏をつけ、
まずグリーククラブを発展させ
きたいと思っています。



先決問題は何か

高一〇 中田 和夫

映画



菩提樹

この「トラップ・ファミリー・シンガーズ」は一九五五年に警視庁音楽会をひらいて家族合唱団としての約二十年間にわたる合唱生活を一応終ったが、現在合唱団としてはまだ続いている。トラップ家は家族で団員に加わっているのは息子達三人丈なぞである。(岡田記)


といふその陰
今日もまきりぬ
贈き小夜中
ま闇に立ちて
まなご聞すれば
枝はそよまきて
語る如し
「来よ いとし友
ここに幸あり」
面をかすめて
吹く飛さむく
笠はこへども
すてて急ぎぬ
遙かさりて
竹まえば
なおも聞ゆる
「ここに幸あり」
遙かさかりて
竹まえば
なおも聞ゆる
「ここに幸あり」

来る二十八日（火曜日）高〇
敬堂において部会を開きます。
まで非常に活動がにぶかつたの
で、大いに活動性のあるものにす
べく、対策をねりたいと思つて
います。又、監査部員解消のた
め名簿を新しく作りますので
おそれないで集まつて下さい。届出
がなかつた欠席の場合も除名します
新たに入部したい人も来る事。

〇……図画の時間中三Aの諸君
逆二時間近くかかつて、石膏の
デッサンを、手を真黒にして一
生懸命やり大部分出来上りかけ
た時に、大蔵先生より、もつと
よく見て描けの言葉、あけくもの
界には消せとの言葉、苦勞も水
の泡。デッサン満すのに、パタ
パタトタトタの
大騒ぎ。中には
満さずにそつと
置いた生徒
もいたとか。一
十月三日

〇……某日、某
クラス、某先生の時間、某君はは
突然立ち上りの直立不動の姿勢を
とつた。先生気がついてナゼ立止
ツチヨルノカ、ハヤクスワレと
言われたが、某君黙秘権を行
使、とうとう一時間中立ち続け
た、彼に聞くと友人に一時間中

特が



「上品さ？」十「結束力

高一Cの巻



このクラスの御大は、加地安寛先生である。この名を聞けば、およそのクラスカラーは想像がつかうというもの。

土川先生が「君たちはまたまた子供供に」といわれたクラスである。確かに精神年齢は一見低いように見受けられる。だが実際はそうではない。無邪気にやつてるだけである、無邪気であること、子供であることは違つた。又、このクラスは無邪気であると同時に上品である。授業中は誰が見ても高貴で一番静かなようである。もつとも本当にお上品で静かな人。例えは水渡の様な君子もいるが、いねむりをしていて静かなやつもいる。この方の例は多すぎていちいち書くのに困る。ほとんがこの例の中に入ると見てよい。がこう立ち通したら、ウドンをおこると言われて、さつそく実行したそうである。もつともウドンはおこつてもえなかつたそうである。

〇……千葉先生は、講義の最中に「まあ」という言葉を連発される。あるヒマ人が数えた所によると一時間一〇五回の記録が残っている。

……某日、某クラスの教室はふかしけなにおいが、たちこめていた。突然セキとガシヤミの大合奏が始まつた。又、流感がぶり返したかと思へたら、何とストロブに、こしようにくべたんだぞうな。

このクラスは、加地安寛先生である。この名を聞けば、およそのクラスカラーは想像がつかうというもの。

土川先生が「君たちはまたまた子供供に」といわれたクラスである。確かに精神年齢は一見低いように見受けられる。だが実際はそうではない。無邪気にやつてるだけである、無邪気であること、子供であることは違つた。又、このクラスは無邪気であると同時に上品である。授業中は誰が見ても高貴で一番静かなようである。もつとも本当にお上品で静かな人。例えは水渡の様な君子もいるが、いねむりをしていて静かなやつもいる。この方の例は多すぎていちいち書くのに困る。ほとんがこの例の中に入ると見てよい。がこう立ち通したら、ウドンをおこると言われて、さつそく実行したそうである。もつともウドンはおこつてもえなかつたそうである。

〇……千葉先生は、講義の最中に「まあ」という言葉を連発される。あるヒマ人が数えた所によると一時間一〇五回の記録が残っている。

……某日、某クラスの教室はふかしけなにおいが、たちこめていた。突然セキとガシヤミの大合奏が始まつた。又、流感がぶり返したかと思へたら、何とストロブに、こしようにくべたんだぞうな。

中三Aの巻

に立ち引つばで行くような者はいない。しかし結果は固こが心強いところである。種にしたつて他のクラスのよモサ連はない。こういう所上品という感じのする要薬と「お上品」+「結実力」Ⅱ「高一Cのカラー」といえる。

表の心のすばらしさ

裏の心の美しくしさ

悪魔グループではない。これらの暗黒団は時々突拍子な事をしてか我々様々を笑つた為、なくてはならぬ存在。この中の岡田君キイキイ声のモンキーとして有名。この人物すくく高い音から低い音まで出す要人である。その他「カツバ」の岡田君、「タヌキ」の西山君、「ニコニコ」の藤井君、「大声」の石井君。素晴らしい人間ですこの人。

裏の心の美くしさ

々々は、中三Aの生徒諸君様々
 る。かよき和田先生を賞領
 、賞領のまわりを取りまく面
 いかめしさよ、面白さよ、素
 さよ。我々様々の教諭は、ま
 く変つてゐる。何が變つて
 が聞きたいなら教えてやる。
 ブが後に取り付けてある事
 しかしこれは序ノ口で、次の
 驚くなかれ、授業中に先
 高島とおる君ノ繞いて國語の先生
 で親縁寺の住人××先生とつり三
 つの五條より君。これら三坊主
 クラスで大人気である。それから
 『マンガ』の寺田君。この人の顔
 はミツキーマウスと凡人の顔をま
 げた様な顔である。次は、女の様
 におしとやかで、赤いはおで、ニ
 キビがなま、髪にはいつもびしつ
 と、くし目が通つてゐるこの人
 目する程のミツキーマウスとつり三
 在に出るクラスはあるかもしれない
 が、我々様々のクラスほどと
 まりがない様に見えてあるクラス
 は他には全然つともある。授業
 中に町の中より囁りがもつと上
 上る。寮の側の者が小聲で『外を
 見る』と言つと、組中の者が一体
 となつて一斉に外を見る。何とび
 ちつとまゝとまりがあり、一致協力
 してゐる事よ。

大立者の集団

中三Bの巻

ラス全体の語はこれくらいに
個々をみてみる事にしよう
大人物、大秀才、スポーツマ
ッ奇人がいるのもわかラス
微である。まず「ダニ」こと
君をあけよう。彼はカント以
大哲学者である。彼の哲学熱
当なもので、もう我々の世界
君、私に名前前の由来は忘れたが、

大立者の集団

中三Bの巻

次にながラスの奇人達を署名
(或は署名かもしれない)を中心
紹介しよう。筆頭はある赤い頭を
した水野君。三年中で彼を知らぬ
者はいないし、その他の学年の方
でもきつと彼をみつけることがで
きるだろう。彼はわがラスのホ
ープである。次にわが流星のイン
テリゲンチヤーといわれる道家
君、私は名前の由来は忘れたが、

彼が真顔でいうことは誰も聞いて
いない。又唇に一世紀おくれてい
るという四方君。彼の云う事を聞
いているとこちらが寝てくる。
特に英語を読む時ははなはだし
い。その他「シマウツ」水渡君、
「シマウツ二世」の吉田君、この
説明は必要あるまい。吉田君は小
哲学者でもある。和田先生くらしい
のクシヤミをする者はこの学校に
ておく。

数人いると思うが、わがクラスで
は同じくとも大岩君である。も
ろ二、三年したら、和田先生より
も大きくなるに違いない。またま
だいますゾ。まがつている「大
田君。どこがまがつているのでし
よう。オソボロ哲学の松原君。参
考書」の比置江君等々。あけて
いればきりがいいからもうやもう
。これらの友だちは皆わがクラス
をゆかいならしめるに重要な友
ばかりである。突になががラスは
奇人の集まりで極端まで含んでい
る。

すぐれたスポーツマンがいるの
もBクラス。ハンドボール部の支
柱水野君。百メートルに好記録を
だした岡野君。その他高木、亀
田、服部、佐々木、岡本とあけれ
ばきりがいい。とにかく「わんだ
るラス」である。なおこの組
には、長期欠席をしている清水哲
英君がおられることもつけくわえ
ておく。

編集後記

やつと出来た第二十七号の新聞を
おとす。今度の新聞は、ニ
ユース性のないものになつてしま
つて真に申しわけない。
その代り、おもしろい新聞とす
るためには相当力を入れたつもり
でいる。「マナ板」を大に利用
してもらえれば幸いです。
又「特ダネ」は、校内のゴシツ
ブを集めて紹介します。
色々この号から改良に着手しま
したが、まだまだ生徒のための新
聞には程遠いと思われれます。よ
うて近く投書箱をこなえつきます。
投稿、問答等々でいつばいの世
書箱となるように、十分利用し
下さるようお願いします。

(A・T記)

編集後記

ある。何と感動せずにはいられぬクラスではないか。

(A・T記)